

1. 記念講演・特別講演・基調講演・シンポジウム

(p. 16～22)

資料(1) 記念講演・特別講演・基調講演, シンポジウム

《第4回研究大会》－1968年－

1. 日本におけるレクリエーションのビジョン

小川長治郎（日本レクリエーション研究会理事）

巻 正 平（日本レクリエーション研究会理事）

林 実（日本レクリエーション研究会理事）

司会－前川 嶋雄（日本レクリエーション研究会会長）

《第5回研究大会》－1969年－

1. レクリエーション研究の方向と課題

(1) わが国におけるレクリエーション研究の動向

団 琢磨（島 根 大 学）

(2) レクリエーション研究の独自性

北森 義明（順 天 堂 大 学）

(3) 研究会の動向と今後のあり方

林 寿彦（国 際 青 少 年 協 会）

《第1回学会大会》－1971年－

1. 職場生活とレクリエーション活動についての研究

— 特に公務員のレジャー生活の現状と問題点 —

秋吉 嘉範（九 州 大 学）

《第2回学会大会》－1972年－

1. 都市化する社会における地域レクリエーションの発展のために

— 地域住民の生活と意識構造 —

(1) 地域住民意識に基づいた組織（クラブ）作り

会田昭一郎（国民生活センター）

(2) 公営体育施設（体育館）の利用実態から見た地域住民のレクリエーション意識と生活構造

三原 忠雄（府中市教育委員会）

(3) 都市化地域における生活の変容とレクリエーション意識

齊藤 定雄（順 天 堂 大 学）

《第3回学会大会》－1973年－

1. レクリエーション行政の基本的方向

福士 昌寿

（シンポジウム）

テーマ「週休2日制と職場レクリエーション」

1. 日本産業構造の変化とレクリエーション

中条 毅

2. 生きがいを作り出すレクリエーション

足立 克己

《第4回学会大会》－1974年－

1. レジャーの将来性について

鈴木 広（九 州 大 学）

《第6回学会大会》－1976年－

1. 秋田風土とレクリエーション

工藤 英三（秋 田 大 学）

《第7回学会大会》－1977年－

1. 富山の風土とレクリエーション

稲垣 保彦（富 山 大 学）

《第8回学会大会》－1978年－

1. アメリカにおける最近のレジャー動向, 公共レクリエーション行政システム, 大学における指導者養成の現状について

ジーン E. シェロー博士

（マサチューセッツ大学準教授）

《第9回学会大会》－1979年－

1. 現代社会における余暇利用度の研究

金 命祚（国 立 釜 山 大 学）

《第10回学会大会》－1980年－

1. 野外レクリエーションと自然保護

ジョン・J・カーク 博士（モントクレア大学教授）

2. 1980年代の動向

(1) 80年代のレクリエーション

前川 峯雄（東 京 教 育 大 学）

(2) 体力作りの発想の転換からレクの発想の転換へ

塩谷 宗雄（東 海 大 学）

(3) 問題提起

三隅 達郎（関 東 学 院 大 学）

《第11回学会大会》 - 1981年 -

1. 専門分野別連続シンポジウム

(テーマ) わが国野外レクリエーションの現状と課題
(パネラー) 進士五十八 (東京農業大学)
中田総一郎 (財・日本交通公社)
有賀 一郎 (株・サンコー・コンサルタント)
麻生 恵 (東京農業大学)
毛塚 宏 (株・ラック計画研究所)
宮林 茂幸 (東京農業大学)
(司会) 前野淳一郎 (株・スペース・コンサルタント
千葉大学)

(テーマ) レクリエーション・プログラムの開発
(パネラー) 宮下 桂治 (順天堂大学)
安原 輝雄 (習志野レクリエーション研究会)
鈴木 秀雄 (関東学院大学)
(司会) 北森 義明 (順天堂大学)

《第12回学会大会》 - 1982年 -

・講演ライフ・サイクルとレジャー・レクリエーション
～中高年の余暇問題を含めて～

ジョン・R・ケリー (米国イリノイ大学)

・専門分野シンポジウム (政策研究分野)

「シニア・エイジのレクリエーション行政とその展開」

浅田 隆夫 (筑波大学)
秋吉 嘉範 (福岡教育大学)
諫山 秋利 (大分県立総合体育館)
木下 茂徳 (日本大学)
金崎 良三 (九州大学)

・講演『レジャー・カウンセリングについて』

ピーター・A・ウィット (ノース・テキサス州大学)

田中 祥子

訳 池田 勝

・連続シンポジウム

「わが国におけるレクリエーション学の体系化に関する研究」

(1) レクリエーション学の体系化の方法と戦略

話題提供者 鈴木 忠義 (東京農業大学)

コーディネーター 進士五十八 (東京農業大学)

報告者 麻生 恵 (東京農業大学)

(2) レクリエーション学の対象と方法

話題提供者 西野 仁 (東海大学)

山崎 進 (相模女子大学)

前野淳一郎 (千葉大学)

コーディネーター 今井 毅 (日本体育大学)

報告者 石橋 宏宜 (日本体育大学)

(3) レクリエーション原論を中心として

話題提供者 川村 英男 (体育学研究家大学)

近藤 英男 (近畿大学)

浅田 隆夫 (筑波大学)

コーディネーター 蕪木 隆 (電気通信学園)

《第13回学会大会》 - 1983年 -

・専門分野シンポジウム (政策研究分野)

「現代社会におけるレクリエーション概念の再検討

～我が国のレクリエーション研究史からの問いかけ～」

コーディネーター 小田切毅一 (奈良女子大学)

パネリスト 藺田 碩哉 (日本レクリエーション協会)

仲村 要 (同志社大学)

影山 健 (愛知教育大学)

西野 仁 (東海大学)

・講演『アメリカにおける野外教育・野外レクリエーションの現状』

ウィリアム・B・ニーボス

訳 田中 祥子

・連続シンポジウム

『わが国におけるレクリエーション学体系化に関する研究』

(4) レクリエーション資源、レクリエーション空間
を中心として

鈴木 忠義 (東京農業大学)

杉尾 邦江 (ブラック研究所)

涌井 史郎 (石勝エクステリア)

前田 豪 (ラック計画研究所)

進士五十八 (東京農業大学)

報告 麻生 恵 (東京農業大学)

(5) レクリエーション行動, レクリエーション指導
を中心として

今村 浩明 (千葉大学)

大堀 孝雄 (東海大学)

千葉 和夫 (日本レクリエーション協会)

松原 洋三 (立教大学)

報告 松原 祥三 (立教大学)

(6) レクリエーション学教育を中心として

藤本祐次郎 (日本体育大学)

高橋 和敏 (東海大学)

田中 祥子 (津田塾大学)

松浦三代子 (東京女子体育大学)

報告 松浦三代子 (東京女子体育大学)

(7) レクリエーション政策を中心として

小林 秀夫 (長岡市レクリエーション
課元課長 現広報課長)

半田真理子 (経済企画庁国民生活政
策課 課長補佐)

長田嶋玖郎 (東京生活文化局観光
レクリエーション課 課長)

今井 毅 (日本体育大学)

《第14回学会大会》 - 1984年 -

• 講演『これからのレクリエーション研究について』
江橋慎四郎 (鹿屋体育大学)

• 専門分野別シンポジウム (行動研究分野)

『余暇行動研究の動向と今後の方向』

～特に研究の方法論について～

コーディネーター 西野 仁 (東海大学)

パネリスト 原田 宗彦 (ペンシルバニア州立院)

山口 泰雄 (鹿屋体育大学)

川西 正志 (中京大学)

• シンポジウム

• (1) 『関連学会から見たレクリエーション研究の視
点』

パネリスト 除野 信道 (上智大学)

古田 勝彦 (社会工学研究所)

白石 克己 (玉川大学)

田畑 貞寿 (千葉大学)

コーディネーター 池田 勝 (鹿屋体育大学)

報告 芳賀 健治 (東京家政学院大学)

• (2) レクリエーション学研究の対象と課題

パネリスト 高橋 和敏 (東海大学)

西野 仁 (東海大学)

コーディネーター 渡辺 貴介 (東京工業大学)

報告 西野 仁 (東海大学)

《第15回学会大会》 - 1985年 -

• 実践報告 地球社会でレク文化の定着をめざして

• シンポジウム 丸山 正 (八王子市レクリエーシ
ョン協会事務局長)

『地域文化とレクリエーション』

司会 田畑 貞寿 (千葉大学)

パネリスト 足立 省三 (中日新聞論説委員大学)

鈴木 忠義 (東京農業大学教授)

田中 祥子 (津田塾大学教授)

川村 英男 (本学会東海支部長)

(講演)

• レクリエーションとしてのフィットネスプログラム

Charles E. Hartsoe

訳 原田 宗彦

• アメリカにおけるレクリエーションスペース計画の
動向

Leslie M. Reid

訳 諸風 裕

《第16回学会大会》 - 1986年 -

• 講演

北米におけるレジャー・レクリエーションの動向

Dr. コー・ウェストランド (前オタワ大学教授)

原田 宗彦

訳 山口 泰雄

• 特別研究発表

沖縄の生活とレクリエーション

～伝統芸能とマリンスポーツ～

金城 光子 (琉球大学教授)

• 公園とレクリエーション

～その方法と未来像～

第1部 現場報告

コーディネーター

毛利 宏

瀬下 明

小須田 伸

出淵 顕

岸 達男

木下 勇

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター

藺田 碩哉

伊達 建夫

高橋 效

西野 仁

林 耀子

袁茂寿太郎

報告 麻生 恵

《第17回学会大会》－1987年－

特別講演

「レジャー・レクリエーション研究の明日」

Dr.J.BANNON (イリノイ大学教授)

・シンポジウム

《第18回学会大会》－1988年－

シンポジウム ▶ テーマ◀

レクリエーション研究の今日的課題

S－1 日本人のレクリエーション行動の現状と
解析

松田 義幸 (筑波大学)

S－1 比較文化論の見地からみたレジャー・レ
クリエーション

村山 紀昭 (北海道教育大学)

S－1 これからのレクリエーション研究・政策
の課題

荒井 貞光 (広島大学)

総 合 司 会

鈴木 秀雄 (関東学院大学)

《第19回学会大会》－1989年－

○総合テーマ

「魅力あるレクリエーション行動に向けて」

○基調講演

「人間にとって遊びとは何か、そして今」

～比較生活文化の視点から～

原子 令三 (明治大学教授)

○シンポジウム

「人間にとって遊びとは何か」

・地域生活文化の立場から

岡部定一郎 (東洋開発株式会社企画部長)

・企業レクリエーションの立場から

石川 文雄 (日本アイ・ビー・エム株式会社専任次長)

・ディベロッパーの立場から

藤 賢一 (福岡地所事務所取締役営業本部長)

・司 会

秋吉 嘉範 (福岡教育大学)

(日本レクリエーション学会監事)

《第20回学会大会》－1990年－

○大会テーマ

『生涯学習時代のレジャー・レクリエーション』

○基調講演

『生活文化としてのレジャー・レクリエーション』

講 師 小塩 節 (中央大学教授)

司 会 徳久 球雄 (青山学院大学教授・学会常任理事)

○シンポジウム

『学習社会におけるレジャー・レクリエーション』

パネラー 稲垣 良典 (九州大学教授)

佐藤 敏夫 (東京神学大学教授)

野中ともよ (中京女子大学客員教授)

司 会 松田 義幸 (筑波大学助教授・学会常任理事)

《第21回学会大会》－1991年－

○大会テーマ

『人生80年時代のレジャー・レクリエーション』

○基調講演

『豊かな時代を創るために』

— 70万時間の人間化 —

加藤 雅（経済企画庁国民生活局局長）

○シンポジウム

『現代レジャー・レクリエーションの直面する課題』

1. 村おこし、町おこし

山崎 充（静岡県立大学教授）

2. リゾート開発

辻 醇（名鉄総合企画取締役）

下村 彰男（東京大学農学部助手）

3. 福祉・教育

大田 弘子（生命保険センター・研究員）

《第22回学会大会》－1992年－

大会テーマ

『レジャー・レクリエーションと環境』

統括・記念講演

『新・日本人の余暇』

青木 利夫（文教大学教授）

シンポジウム

【第1シンポジウム】

テーマ『レジャー・レクリエーションにとって

望ましい社会環境を探る』

パネリスト

川上 和久（明治学院大学助教授）

嵯峨 寿（余暇開発センター研究員）

佐々木 享（トヨタ自動車事業開発部部長）

林 裕三（日本体育施設運営協会会長）

司 会

松田 義幸（筑波大学・多摩大学客員教授）

【第2シンポジウム】

テーマ『地球・自然環境との調和あるレジャー・

レクリエーションのあり方を探る』

パネリスト

糸賀 黎（筑波大学大学院環境科学研究科教授）

西田不二夫（備ブレック研究所専務取締役）

井上 忠佳（建設省環境政策研究所長）

油井 正昭（千葉大学園芸学部助教授）

コメンティーター

永嶋 正信（東京農業大学教授）

下村 彰男（東京大学農学部助手）

総 括

進士五十八（東京農業大学教授）

司 会

杉尾 邦江（備ブレック研究所専務取締役）

第1シンポジウムの課題とパネリスト

1) 第1の問題について

『7カ国L/R活動選考調査』から、日本人のL/R享受能力が低く、また加齢につれて、なぜL/Rに消極的になるのか。

パネリスト

川上 和久（明治学院大学助教授）

2) 第2問題について

『勤労者の余暇ニーズに関する意識調査研究』（労働省）結果を参考にしながら、日常のL/R環境整備の新しい視点を探る。

パネリスト

嵯峨 寿（余暇開発センター研究員）

3) 第3の問題について

L/R産業の魅力とフィランソロピイ、メセナ活動のあり方について。

パネリスト

佐々木 享（トヨタ自動車事業開発部部長）

林 裕三（日本体育施設運営協会会長）

（通産省産業構造審議会生涯学習部会委員）

4) 司会と第4問題について

パネリスト

松田 義幸（筑波大学・多摩大学客員教授）

第2シンポジウムの課題とパネリスト

1) “持続可能性”からみた地球環境と調和、共存するレジャー・レクリエーションの新たな概念の構築

パネリスト

糸賀 黎（筑波大学大学院環境科学研究科教授）

2) 地球環境と調和共存するレジャー・レクリエーション資源、空間、施設の開発整備と環境保全
“我国のリゾート開発の直面する問題点と整備

について”

パネリスト

西田不二夫（㈱ブレック研究所専務取締役）

（東京大学講師・環境法研究会委員）

3）都市環境における地球環境と調和共存するレジャー

- ・レクリエーション活動の展開と課題

パネリスト

井上 忠雄（国営昭和記念公園工務事務所長）

（建設省関東地方建設局）

4）環境と調和するレジャー・レクリエーション資源

空間、施設のデザインとその整備についての
自然的方向を求めて

パネリスト

油井 正昭（千葉大学園芸学部助教授）

5）コメンティーター

永嶋 正信（東京農業大学教授）

下村 彰男（東京大学農学部助手）

6）総 括

進士五十八（東東農業大学教授）

7）司会・進行

松尾 邦江（㈱ブレック研究所専務取締役）

《第23回学会大会》－1993年－

□大会テーマ

『自然に遊び、自然に学ぶ』

□基調講演

『生態学的文明に向けて』

— 自然に学ぶレジャー・レクリエーション —

講 師 柴田 敏隆（㈱日本自然保護協会理事）

□シンポジウム

テーマ 『自然教育とレジャー・レクリエーション』

パネリスト

飯田 稔（筑波大学教授・野外活動分野）

柴田 敏隆

（㈱日本自然保護協会理事・自然教育分野）

額田 信哉

（㈱自然環境美化管理財団理事・自然教育分野）

塚田 弘一（山形県観光協会・ツーリズム分野）

司 会 油井 正昭（千葉大学）

《第24回学会大会》－1994年－

□大会テーマ

〈21世紀を迎えるレジャー・レクリエーション環境〉

－北海道の自然と生活文化に学ぶ－

□基調講演

〈21世紀に向けてのライフスタイルを展望する〉

－20世紀の社会を総括して－

講 師 鷲田小彌太（札幌大学教授）

□シンポジウム

〈21世紀を迎えるレジャー・レクリエーション環境〉

－北海道の自然と生活文化に学ぶ－

1. 「北海道の自然・生活文化とレジャー・レクリエーション」

森山軍次郎（専修大学北海道短期大学教授）

2. 「北海道の豊かな自然の利用と保護」

生方 秀紀（北海道教育大学教授）

3. 「北海道における産業構造の変化とレジャー・レクリエーション対応」

下川 哲央（北海道銀行調査部部長）

4. 「アイヌの遊び、祭りと北海道の自然」

魚井 一由（北海道旭川市博物館）

- ・アイヌの生活における自然との豊かな関わり

- ・アイヌの人々の生活の楽しみ方と祭り

司 会 寺嶋 善一（学会常任理事・明治大学教授）

□公開講座

テーマ 「遊びとまちづくり」

1. 「豊かな遊びのまちづくり — 楽しみながらまちづくり —」

講 師 前野淳一郎

（学会副会長・㈱スペースコンサルタンツ会長）

2. 「遊びやスポーツの変化に対応した新しいまちづくり」

講 師 宮下 桂治（学会常任理事・順天堂大学教授）

《第25回学会大会》－1995年－

□大会テーマ

『新しい時代の創造的余暇』

□ 記念講演

『21世紀への提言

これからのレジャー・レクリエーションのあり方を
探る』

～若者のレジャー・レクリエーションを中心に～

浅田 隆夫

(日本レジャー・レクリエーション学会会長)

□ 基調講演

『ボランティアに見る創造的余暇』

福永佳津子 (海外生活カウンセラー)

□ シンポジウム

『新しいレジャー・レクリエーション時代の生き方』

パネリスト

(1) 『グローバル時代のレジャー・レクリエーション』

原田 宗彦 (大阪体育大学教授・学会理事)

(2) 『生涯学習社会の到来と新しい時代の余暇の
あり方』

松田 義幸 (実践女子大学教授・学会常任理事)

(3) ボランティアに見る新しい時代の方向性とネッ
トワークづくり

宮下 桂治 (順天堂大学教授・学会常任理事)

コーディネーター

芳賀 健治

(東京家政学院大学助教授・学会常任理事)